
炎の紋章 2

いかだんす

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

炎の紋章2

【Zコード】

N4074C

【作者名】

いかだんす

【あらすじ】

カイの前にあらわれた未知なる敵そして・・・

2話 ニューハローア（前書き）

わあ、2話になりました。初めは自分の小説を詠んでいただけるか不安でしたが、多数の方に読んでいただき、感謝、感激です。本当にありがとうございました！尚、御感想、ご意見や批判、アイディア、などがございましたら私事情により、いかだんすのメッセージコーナーにおねがいします。お手数ですがよろしくおねがいします。

2話 ダラハンロード

カイが何気なく外に目をやるとさつきまで何ともなかつた草原が真つ赤にもえていた。カイはたまらず外に飛び出した。すると炎の中からこつちにむかつてあるいてくる。

カイ

「ベルか?だいじょうぶだつ・・・」
そいつは、

いきなり攻撃してきた。???

「ファイヤークローキー

カイの目の前にいきなり巨大な何かがあらわれ、カイは20m吹き飛ばされた。

「熱!!なんだいっは??」

はじめて見るそいつに動搖をかくせないカイ。

???

「ファイ

ヤーブレス」
カイめがけてとんできた。

カイ

「さつきのであれだけ、

ダメージ受けたんだ、こいつまでくらつたらヤバイ!!

直感的にそう感じたカイは、左側に避けた。

ドン!!

「きやつ」

何か

にぶつかつた・・・人・・・少女だ。

???

「ごめんなさい、ベルドット

から、救援メールがあくれてきたから、来てみたんだけど、少し遅かつたみたいですね。あなたは?私ファイルっていうんですけど、縁髪の女の子みませんでした?

カイ

「さつきまで一緒にいたんだけど・・・ってま
ずは、この状況をなんとかしないと!

ファイル

「まあ、見ててくだ

さいよ。

ファイルという少

女はやうに口笛をふいた。

「……………」

「……………」

「……………」

「……………」

「……………」

カイは初めて見るドラゴンに不思議を感じた。 体は赤く手足に生えた鋭い爪に金色に輝く翼に緑色の眼その眼は威厳に満ちあふれている。 一見孤高にみえるが、実際は忠実で賢い神聖な生きものなのだ。 このドラゴンに乗つて戦う騎士のことをドラゴンロードといつ。 つまりフィルはドラゴンロードなのだ

ドラゴンロードの弱点

ファイル

「まあ、見てくださいよ。

向うで暴れてる人を縛いてくるんで（^○^）

ファイルはそういうと、ドラゴンにまたがつてとびさ

つていった。

カイ

「縛くつて・・・あいつ一人で大丈夫なのか？相手はたぶん
人だらうけど、火を飛ばしてくるからな・・・

カイが茫然としてると後ろから声がした。

「カイさん」

ベ

ルだつた。

カイ

「ベルか大丈夫なのか？」

ベル

さんは？怪我なかつた？？

カイ

「私は大丈夫だけど、カイ

変な術を使うやつに襲われた・・・あと、ドラゴンロードのファイル
つて子がベルのことを探してたけど・・・

それを聞いたベルはしまつたと言うような顔をしといた。

ベル

「カイさん！その子もしかして一人でいっちゃつた？！」

カイ

「うん・・・相手がやばそuddから止めようとおもつ
たんだけど・・・

ベル

「止めなかつたの？！ そんな・・・相手は『ファイヤー
ファイター』あの子が一人で戦える相手じゃないのに！！

ファイヤーファイター？？

ベル

「そう今は詳しく話してゐる暇はないけど、簡単に言つとアイヤーファイターは火を飛ばして攻撃してくるの、そして、火の攻撃は空を飛ぶドラゴンには、最も有効なの！」

カイ

「つていうことは、やばくないか？勝てないってことだろ？あの子あんなに自身たっぷりだったのに！」

ベル

一人は走

りだした・・・ただフィルが無事なのを願つて、だが一人ともきがついてはなかつた、二人のあとを付けている怪しい影には・・・

4話 影(前書き)

「いやあで自分の話を読んで頂けるとは、思つてもこませんでした。
ありがとうございます! こんな自分の作品で満足頂けたら幸いで
す。 次回は一応5回目とことことでキャラ
クターのプロフィールをつかよつと題します

その一九、

「お、おまえなんなんだ？？なぜ、私の炎がきかない！？」くそつ！ファイヤーブレス！ファイヤークローキヤーファイター

「アーリーのところには四駆して、二基のモーターを出でる炎。しかし……

何これで終わる?

そこには、きず一つ付いていないファイルの姿があった。

「なぜだ、私の炎はおまえには、最適なはず・・なぜ・・！

貫く
ファイル

一悪いけどあんた弱すぎ

そんな初級術が私に通用するわけにないしやん？

なにがおかしいのかは自分でもわからなかつた。その姿をみていた
フィルは蔑む様に聞いた。

ファイル —あんた人の時計を盗

んたんたて消えるまえにかえしてもいおひか

えな！私は主人からこの辺を焼き払うようにいわれただけだよ！
お、おまえらこそ・・・俺たち逆らつてのうと暮らせると・・・
お、お、もうなよ・・・す、すいませんネルソンさん・・・

! !

「アライターはそこまで言うと爆発した。

のだ命が終わりに近づくと遺体を残さず爆発これがファイヤーファイターの運命だ

ファイルは彼

の着ていた衣服の破片を調べてみた。

嫌な予感が彼女の胸を過つたからだ。

ネルソンって、まさか・・・

各地を旅している彼女には思い当たる節があつた

慎重に裏向きにしてみる・・・ ネルソンに

赤いシーフを着たファイヤーファイター、爆発。

ベル 「ファイル！」

彼女は慌てて衣服の破片をしまつた。

ベル

「ファイル！大丈夫だつた？？ 怪我なかつた？！」

あいつ

は・・・ファイヤーファイターは？

ファイル 「ベル・・・あいつ弱すぎ。

瞬殺だつたよでも・・・

でも？どうしたの？

・・・・・・・・・・・・・・・・・・

ベルの顔色がか

わつた。ベルもネルソンという人を知つていたのだろう。

しかし二人は気がつかなかつた。とおくでこの会話を聞いている影には・・・

5話 ベルの決意新たな始まり

一夜があけた朝
く仕事があるといつて大空へ飛び立つた。

ファイルは朝早

ベル ふーなんか疲れちゃった。
カイ ？何が？？

ベル 何がって・・・
カイ ああ、まあ、お

ひつぱり回しちゃったことと、あと時計のこと・・・
カイ 時計もなんとかなるし

ベル そつ・・・よかつた~じゃあ
これから・・・
カイ ジゃあ、俺もそろそろ出るよ!本当にありがとう!!

ベル えつ?! ・・・もついつちやうの?

ベルは彼はしばらくここにいてくれるものだとおもっていたから、一瞬意味がわからなかつた。
そのあとに浮かんできたのは、彼がここにきてから、ずっと聞きたかつたことだ。

ベル のさ、カイさんて旅しているんだよね?

カイ 旅・・・放浪かな?笑

カイは笑つたがベルは真剣だつた。

贝尔は、自分の顔が赤くなつて

いくのがわかつた。 本当はこんなこというキャラじゃないのにもし迷惑じやなかつたら

カイ

何？届け物？

固唾を飲むそして・・・
かつたら、あたしもつれてつてもらえないかな？

もし迷惑じゃな

・・・・・

・・・・・

カイ

・・・・・
ベル
あ、

邪魔だつたらいいんだよ

・・・・・
カイ
何で？

ベル

予想もしなかつた返答ベルは戸

惑つた。

カイ

まあ・・・いいか！ いいよーついできたいならこいよー

ベル

え・・・いいの？ ありがとうー！

・・・・・

・・・・・・・・・・・・ こうして少女ベルは16年育つたバーラの地をあとにした。 彼女が旅に出る理由はまたいつかたるとしよう・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4074c/>

炎の紋章 2

2010年11月17日15時20分発行